

1. 学校教育目標

浦安市学校教育推進計画の基本目標である「自ら学び 自他を尊重する心と 時代を切り拓き しなやかに生きる力の育成」をめざし、学校教育目標を次のように定める。

「志を高く掲げて、自分色に光り輝く生徒の育成」

スローガン ～TAKASU 最幸～

2. めざす生徒像：自主的から自発的に→手応えを実感

- (1) 自ら学び、身に付けた知識や技能を活用する生徒（主体的学び）
- (2) 自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う生徒（自他を尊重する心）
- (3) いのちを大切にし、健康でたくましい生徒（健やかな体）
- (4) 適切に表現する力を身に付け、人や社会に積極的にかかわる生徒
(豊かなかかわり参画・交流)
- (5) 我が国やふるさと浦安に誇りを持ち、異文化を大切にする生徒（豊かなかかわり
郷土愛）

3. めざす学校像：高洲愛 高洲中学校でよかった

- (1) 一人ひとりを大切にし、生徒が夢や希望を抱き、安心して学習、生活する学校
- (2) あいさつ、対話、歌声が響き合い、誰もが挑戦できる風土のある学校
- (3) 9年間の学びの連続性を意識し、小中の連携を強め、地域に根差し、家庭や地域、と積極的に連携する学校
- (4) 職員がファミリーとして支え合い、同じ想いを持って共に学び合い、力量を高める学校 ※ファミリー：弱音を吐ける、助け合う、遠慮なく相談する

4. めざす教師像：信頼される教師

- (1) 生徒の幸せを願い、使命感あふれる教師
- (2) 心身ともに健康で、日々の教育実践に最善を尽くす教師
- (3) 生徒一人ひとりの学びを保障する授業づくりに努め、手応えを実感できる教師
- (4) 生徒の声に耳を傾け、安心・安全に生活することを最優先に考える教師
- (5) 温かい人間関係を築き、互いを認め合い、励まし合い、高め合う教師
- (6) 学び続ける姿勢を持ち、研修に積極的に参加する教師

5. 学校生活の基本姿勢

「凡事徹底」：「時を守り、場を清め、礼を正す」《率先垂範の徹底》

(1) 「時を守る」について 予鈴を意識した行動

授業開始や着席の時間、宿題・提出物の期限を守り、物事に取り組む「構え」をつくらせることを大切にする。教職員自身も実践し、日々の教育活動に説得力のある姿勢であたる。

(2) 「場を清める」について きれいな学校

清掃に真剣に取り組む、ゴミが落ちていたら拾う、下駄箱の靴を揃える、机やロッカーなど身の回りを整頓する等、生活環境を整えることができる生徒の育成を行います。教職員自身も職場環境の整美、整理整頓に努める。

(3) 「礼を正す」について

相手を認め、互いに分かり合える土壌をつくとともに、挨拶や返事の意味を理解させ、元気のいい挨拶が飛び交う学校を目指す。教職員自身も挨拶の励行に努め、場に応じた正しい言葉遣いを意識する。

6. 今年度の重点目標（1、2、5、7）と方策

(1) 「進んで学ぶ（自学）」「楽しく学ぶ（意欲）」「学び合い（共学）」を意識し、学習意欲の向上と学力の定着を図る。

① 指導法の工夫・改善で授業の質向上（「主体的・対話的で深い学び」の実現へ）

② 教科部会の充実（評価の材料の明確化、評価計画、単元テスト等の共通理解）

③ 定期テスト前の学習会、期間を設けて補習を実施する。家庭学習について具体的な支援の実施

④ 読書活動の推進・・・朝読書の継続。生徒の豊かな知性や感性の育成と「読解力」の育成

(2) 生徒理解を要とした積極的な生徒指導の推進（未然防止）

① 受容的・共感的な生徒指導の推進・・・信じる、認める、任せる

※個別に支援が必要な生徒への支援はもちろん、努力が表出しづらい生徒やコミュニケーションが取りづらい生徒等に焦点をあて、誰一人取り残さない。

② 生徒が安心して力を発揮できる、あたたかな学級づくり

・他者と積極的に関わり、生徒一人ひとりが安心して意見を言い合える、失敗を恐れず挑戦できる学級・学年をつくる。仲間と共に目標を達成する心地よさを体験させる。

・話し手だけでなく聞き手も育て、話し合い活動の質を高める。

③ 自他共に命を大切にする意識の高揚

・いじめに係る正しい理解の推進（教職員・生徒・保護者、地域）

・いじめの未然防止並びに認知時の適切かつ組織的対応の徹底

・自殺予防教育的視点をもった指導

(3) 道徳教育の充実

- ①担任が行う道徳、パッケージ方式で行う学年道徳を意図的、計画的に実施し、指導方法や評価の在り方について研修しながら、高洲中スタンダードを確立する。

(4) キャリア教育の充実

- ①**職場体験**や外部人材を活用し、多様な価値観に触れ、生徒に「夢」や「憧れ」を持たせられるようにする。
- ②小・中・高と学びの連続性を意識し、系統性を持って取り組んでいく。

(5) ICT教育の充実

- ①タブレットをわかる授業・探求のためのツール、自分の考えを表現するためのツールとして積極的に活用する。
- ②各教科・領域で**タブレットを活用する場面を明確**にし、その効果を積み重ねる。

(6) 特別支援教育の充実

- ①一人ひとりのニーズに応じた教育的支援の充実・・・個別の教育支援計画・指導計画を有効に活用し、計画的・継続的な見直しを行う。
- ②特別支援学級と通常の学級との交流及び共同学習の積極的な推進
- ③関係機関との連携・協力の強化 ※ケース会議の開催

(7) 不登校傾向の生徒への対応

(目的) 居場所づくりと自己理解、社会へ出る土台作り (生きる力)

- ①早期発見、早期対応を心がけ、**S L C・S Cも含め、組織で対応**する。
- ②いちょう学級等、関係機関との連携を密にし、一人ひとりに合った対応をする。

(8) 高洲中学校区小中連携・一貫教育の推進

- ①学区重点目標の具現化に向けた教職員の連携
- ②相互乗り入れ授業の段階的導入
- ③児童・生徒の交流活動の充実

(9) 教職員のモチベーション向上と働き方改革の推進

- ①学年や**教科部会**を基本とした「助け合い」「励ましあい」「気軽な相談」の推進
- ②風通しのいい職場、ボトムアップによるモラールアップの推進
- ③業務を精選し、役割分担、協力体制を明確にししながら効率的な働き方を追求